

令和4年第3回定例会では
一般質問を行いました。

地域コミュニティの活性化支援について

Q コロナ禍において**地域コミュニティの重要性**は増しているが、この間多くの制限を受け、活動することが出来なかった。町会活動をはじめとした地域の活動に対して、**きめ細やかな寄り添った支援**が必要。

A 地域のイベント活動は、顔を合わせてコミュニケーションを取る機会であり、**子供から大人まで集い、親睦を深めることは大切**である。区として、地域の皆様方の活動そのものが地域を支え、土台となっていると認識しており、今後もしっかりと支援していく。



区民体育大会について

Q 60年の歴史がある区民体育大会は、ここ6年間実施できていない。これまで様々な課題も指摘されてきているが、来年度の実施に向け感染症の対策も必要となる。また会場の**外濠公園総合グラウンドも人工芝化**されることから、今までと同じ運営にはならないはず。参加者の負担軽減のためにも、**早期に内容の決定と情報提供**が必要。



A これまで指摘されてきた課題、提言、外濠公園総合グラウンドの人工芝化、コロナ禍の現状を踏まえ、現実的な対応について精力的に議論を進め、**今年度中に見直し**の方向性を取りまとめたい。

千代田の明日へ、共に歩む大坂たかひろの政策3つの柱

1 まちの賑わいを取り戻す!
コロナ禍・物価高騰を乗り越え
地域経済の活性化から元気なちよだへ。

2 次世代への積極投資!
子育て支援・教育の充実から
安心して子どもを産んで育てられる街づくりへ。

3 安心していきいきと暮らせる街づくり!
24時間365日
いつまでも安心して暮らせるまちづくりを進めます。



プロフィール

- ◎1975年 7月4日千代田区西神田で生まれる
- ◎1988年 千代田区立西神田小学校卒業
- ◎1992年 早稲田実業高校軟式野球部で全国大会出場 ベスト8進出 国体出場
- ◎1994年 早稲田実業学校高等部卒業
- ◎2000年 日本大学文理学部史学科卒業
- ◎2005年 中小企業診断士試験合格
- ◎2008年 千代田区経営相談員に就任(7年間勤務)
- ◎2014年 TOKYO自民党政経塾入塾(9期)
- ◎2015年 千代田区議会議員選挙初当選
- ◎2021年 千代田区議会議員補欠選挙 12,802票で当選
- ◎2022年 予算・決算特別委員会 委員長



区政に関する皆様のご意見をお寄せ下さい。

大坂たかひろ後援会事務所
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-10-21
TEL.03-3222-6577 FAX/03-3222-6570

公式ホームページ
www.ohsaka-takahiro.com/

大坂たかひろ

Email
osaka-takahiro@mbr.nifty.com

Twitter
twitter.com/osaka_takahiro7



令和5年新年号 Vol.20 自民党 Lib Dems

発行元 / 自民党千代田区議会議員 大坂 隆洋 千代田区神田三崎町3-10-21 TEL:03(3222)6577

区民のための千代田を目指して!!

大坂たかひろ

活動報告特別版

令和5年 新年を迎えて

昨年は、コロナウイルス感染症の影響による停滞からの出口が見えてきた一年となりました。区内でも街のイベントが少しずつ動き始めてきています。本年は、この動きを止めることなくさらに加速させ、以前の賑わいを千代田区に取り戻すために、今まで以上に様々な支援施策を行っていく必要があると考えています。商工支援や地域コミュニティ支援のみならず、子育て支援・高齢者の健康増進支援に至るまで、幅広い視点に立ち、きめ細かい支援ができるように全力投球で区政に取り組み、着実に政策を実行していきたいと思えます。結びに、千代田区民の皆様にとって実り豊かで明るい一年となることをお祈りし、新年の御挨拶といたします。

千代田区議会議員 大坂隆洋

千代田区議会議員
中小企業診断士

所属委員会

- ◎企画総務委員会
- ◎議会運営委員会
- ◎環境・まちづくり特別委員会
- ◎議会のあり方調査検討特別委員会 (委員長)

「子育て・教育応援給付金」が可決しました。

令和4年第4回定例会で審議された補正予算が全会一致で可決し、物価高騰に直面する子育て世帯の経済的負担を軽減する観点から、子育て・教育に係る経費をサポートするため、子ども1人につき5万円を支給する「子育て・教育応援給付金」を実施することが決まりました。

この施策は、自民党から区長宛てに物価高騰対策として**所得制限をかけない幅広い世帯**への支援を実効的に行うように要望書を提出し、それを受けて実現した施策です。

児童手当を受給している方は手続き不要です。

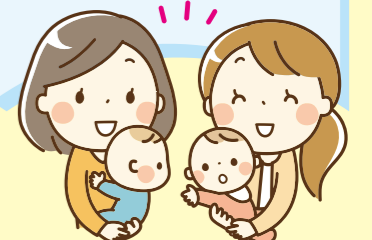
詳細は 子ども部子育て推進課まで **03-5211-3643**

◎対象——区内に住む0~18歳までの
子どもを養育する保護者
約12,000人

◎支給金額——子ども1人につき **50,000円**

◎基準日——**令和4年12月31日**

◎時期——**2月下旬予定**



令和4年11月24日の本会議代表質問で 4つの視点から提言を致しました。

提言 1 千代田区第4次基本構想の策定について

現在検討中の千代田区第4次基本構想は、区から示されたたたき台をもとに、区民と学識経験者による懇談会形式で議論されている。また、議会においても3つの常任委員会合同で審査を行うなど、幅広く意見を聞きながら進めている。しかしながら、大きなビジョンを掲げる「理念」的な内容であるため、表現が抽象的で、千代田区らしさや具体性に欠け、**未来を想像しづらいものとなっている**点が懸念される。この基本構想の策定は、区政運営において最も重要な方針の決定であることから、責任者である区長自らがイニシアチブを発揮し、区民や職員をリードする姿勢を見せるとともに、未来の千代田区の理想像実現に向け、**千代田区政の進む道のりを明確に示すべき**である。

加えて基本構想の改定と同時に**行財政運営の方針についても新たに検討**する必要がある。**第4次基本構想の背景にある現状の課題認識を整理し**、基本構想の理念実現に向けてどのように行財政運営を推進していくのか早急にその方針を示すべきと考える。



議会改革についての勉強会を実施

提言 2 子育て支援への考え方

令和4年6月に「こども基本法」が成立し、「こども家庭庁」が設置されることとなった。こどもの最善の利益を第一に考える政策を、国・都と緊密に連携しながら、進めていくことが求められている。千代田区としては、未来を担う子どもたちのための政策を社会全体で着実に推進できる体制を整え、**妊娠、出産から子育て期に至るまで切れ目のない支援の充実を図っていくべき**。

物価高騰による子育て世帯への経済的な支援は喫緊の課題として、多くの自治体でも議論され、様々な施策が提案されている。本区に



子育て支援施設の要望を区長に提出

においても、我々自民党会派が提出した緊急要望を受け、「千代田区子育て・教育応援給付金」が実施されることとなった。物価高騰などによる家計への負担は、全世帯同様であり、子育てや、教育にかかるお金を切り詰めることの無いように、子育て支援に対する**所得制限**については慎重に検討し、**幅広い世帯へ支援が行き届くような政策を今後も実施していくべき**と考える。

提言 3 今後を見据えた中小企業支援施策について

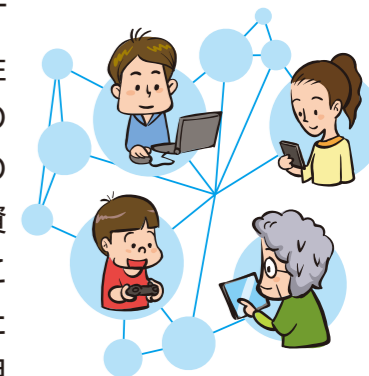
千代田区の中小企業支援施策の根本的な方向性をまとめる「商工振興基本計画」が改訂される。これに平成18年に策定された、「観光ビジョン」が組み込まれ、新たに「産業振興基本計画」として生まれ変わる。千代田区には秋葉原電気街、神保町古書店街、皇居など、国内でも有数の観光資源を有しており、これらを活用し、**インバウンドを取り込む産業施策は不可欠である**と考える。今まさに、コロナ禍からの回復期であり、今後海外からの旅行者は急増することが予測され、この機会をしっかりと捉えられる「産業振興基本計画」とすべきではないか。

商店街等の各組織および団体については、困ったときに頼ることができるという一面がコロナ禍において見直された。しかしながら、商店街組織そのものが長引くコロナ禍によって疲弊してしまっている。ここ数か月間、少しずつイベント等は再開できつつあるが、まだまだ道半ばである。区として、これまで以上に踏み込んだ**商店街等の団体支援が必要であり、引き続き積極的な支援施策の展開を求め**る。



提言 4 DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進

千代田区DX戦略のコンセプトとして、区長は、行政サービスのすべてをデジタルに転換するのではなく、対面サービスも継続し、「区民が選択できる」ようにしていくこと、また、「一人ひとりに寄り添った温もりのあるサービス」を提供できるように努めていくと強調した。**「誰ひとり取り残さない」デジタル社会実現**を目指すには単にICT化を進めていくだけでなく、ICT化により生産性が向上した分の労働力を他のサービスの原資に振り替えることや、収集したデータを活用し、区のサービスや区民生活の質の向上につなげていくという視点が重要である。区のDX推進においても、その視点から**様々なサービスの改善を進めていくべき**。



たとえばPHR(パーソナル・ヘルス・レコード 個人の医療記録の利活用)の促進については、小中学校健康診断のPHR実用化に向けた文部科学省の取り組みがある。本区としても積極的にこの取り組みに関わることで、**区内医療のDX化促進につなげてはどうか**。